

第一線の若手経営者が施設園芸の将来を熱く語る

スマートグリーンハウスシンポジウム

SMART GREENHOUSE SYMPOSIUM

令和8年1月20日（火）13:00～16:45
タワーホール船堀 小ホール 開場 12:30

東京都江戸川区船堀4丁目1-1、都営新宿線船堀駅下車すぐ

大規模施設園芸の多様な経営モデルと将来像



(株)東馬場農園
東馬場 怜司 氏
トマト、ミニトマト:60a
とイチゴ40aを神戸市北
区で経営



(株)ひらくファーム
高島 拓 氏
キュウリ1.5haを福岡県
糸島市で経営



(有)樺山農園
樺山 直樹 氏
高糖度トマト2ha、水田
110ha、葉物野菜等を徳
島県小松島市で経営

PROGRAM

13:00 開会あいさつ (一社)日本施設園芸協会 常務理事兼事務局長 藤村博志

13:05 基調報告「施設園芸の動向と今後の施策(仮)」農林水産省農産局園芸作物課(依頼中)

13:35 事例報告

- ①「高糖度トマト大規模栽培・稲作110ha等の複合経営と将来像(仮)」樺山直樹氏
- ②「キュウリ専作大規模栽培による周年供給と将来像(仮)」高島拓氏
- ③「トマト・イチゴ大規模複合経営による地域展開と将来像(仮)」東馬場怜司氏

15:30 休憩

15:45 パネルディスカッション

16:45 閉会



パネルディスカッション司会
農研機構 野菜花き研究部門 所長 東出 忠桐 氏

参加費：無料／定員：100名

参加お申込
URL



主催：一般社団法人日本施設園芸協会 TEL:03-3667-1631
スマートグリーンハウスシンポジウム担当：土屋・石井 jisedai1@jgha.com